

航空機操縦士養成連絡協議会 航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

裾野拡大ワーキンググループ 平成30年度とりまとめ

1. ワーキンググループ構成員

別紙のとおり

2. 平成30年度における取組み

(1) 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会の開催

一般社団法人日本航空女性協会取りまとめの下、両協議会が連携し開催された「航空教室（女性限定）特別版 Yes I Can!」について、今年度は平成30年12月16日にヘリコプター部会とも連携し女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による仕事の紹介、講演、グループディスカッションが行われ、昨年を大きく上回る64人の参加があった。実施後のアンケートでは、“大変有意義だった”との回答が全体の9割程度を占め、「現場で働く方のリアルな声を聴けて大変参考になった。」「今まで知らなかった職種について学ぶところがたくさんあり、航空業界について広い視点で考えることができた。」等の声もあった。参加者にとってより具体的に操縦士、整備士、製造技術者の仕事がイメージできる有用な取組となった。

(2) 航空機産業人材確保に関する取組み

経済産業省（中部経済産業局）において、航空機産業に関心のある若手人材を発掘し、仕事の理解促進や職業意識の醸成を図り、航空機関連企業等の将来的な人材確保支援を図った。具体的には、(独)国立高等専門学校機構及び地域の高等専門学校と連携し、学生を対象に航空宇宙関連企業等からの講師による、航空宇宙先端技術分野に係る特別講義を5回に亘り実施した。同機構のTV会議システムを活用して講義の様子を中継配信し、関心のある全国15高専の学生が参加した。また、ウェブサイト等を通じてインターンシップ受け入れ実施企業の情報を発信した。

(3) 空の日や子ども霞が関見学デー等のイベント実施

平成30年8月1日及び2日の二日間に渡り開催された国土交通省における「子

ども霞が関見学デー」において、J A P AやJ A E A、全航連をはじめ航空会社が協力し、現役操縦士・整備士・客室乗務員による仕事紹介や日本航空学園ご協力によるフライトシミュレーター体験などを実施した。当該イベントには、国交省全体で約4,800名の参加者（前年比約125%）があり、多数の参加者のなか、次世代を担う世代の裾野拡大につながる有用な取組となった。

また、公益財団法人日本学生航空連盟は公益社団法人日本滑空協会と共催で、平成30年10月21日に妻沼滑空場にて”スカイスポーツフェスタ イン埼玉”を開催し、一万を超える来場者を迎え、グライダー、熱気球、ハングパラグライダー、モーターパラグライダー、自作航空機、模型飛行機などを実際に”乗る、ふれる、飛ぶ”ことができる体験や、千歳、小松、熊谷、入間、岐阜の各航空自衛隊基地祭に際しては、グライダーの飛行、地上展示を行い10万人を超す来場者に”より近い空”をアピールするなど、航空思想文化の普及発展の一助となる活動を実施した。

(4) 各航空会社における取組み

各航空会社において全国各地における航空教室の実施や工場見学、空の日への参加等様々なイベントを通じ裾野拡大に係る活動を実施した。

3. 平成31年度における取組み

平成31年度においては、今年度実施した子ども霞ヶ関見学デーなどの取組みについては、引き続き計画・実行することとしたい。航空機産業人材確保については、これまで高専生に対して専門技術者による講義等を実施し一定の成果が出たことから、引き続き、こうした学生向け取組みを検討していく。

その他の取組みについても関係機関と連携しつつ、可能な限り継続して実施されることが望ましい。また、両協議会事務局からその他裾野拡大に関する取組みについて協力依頼があった場合は、引き続き関係者の積極的な協力が期待される。一方で、協議会員各位においても、裾野拡大に関する取組みを検討する上で、個社での実施が難しい場合は他の会員に協力を要請したり、協議会事務局へ相談したりするなど、相互に協力して取組むことも想定される。


4. 平成31年度以降の進め方

(1) 裾野拡大ワーキンググループについて

裾野拡大ワーキンググループは平成31年度以降も存続し、別途開催する必要があると判断した場合に開催するものとする。なお、ワーキンググループは各協議会の取組みの内容により、協議会ごとに開催する場合も想定される。

<<添付資料>>

- ・裾野拡大ワーキンググループ平成30年度とりまとめ参考資料
- ・裾野拡大ワーキンググループ構成員名簿



裾野拡大ワーキンググループ
平成30年度とりまとめ参考資料

現役の女性操縦士・ 女性整備士・女性製造技術者による講演会

■ 「航空教室（女性限定）特別版 Yes I Can!」

今年度は平成30年12月16日にヘリコプター部会とも連携し、女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による仕事の紹介、講演、グループディスカッションが行われ、昨年を大きく上回る64人の参加があった。

【グループディスカッションの様子】



【昨年を上回る多くの方にご参加いただきました。】



航空機産業人材確保に関する取り組み

■ 経済産業省（中部経済産業局）において、航空機産業に関心のある若手人材を発掘し、仕事の理解促進や職業意識の醸成を図り、航空機関連企業等の将来的な人材確保支援を図った。具体的には、（独）国立高等専門学校機構及び地域の高等専門学校と連携し、学生を対象に航空宇宙関連企業等からの講師による、航空宇宙先端技術分野に係る特別講義を5回に亘り実施した。同機構のTV会議システムを活用して講義の様子を中継配信し、関心のある全国15高専の学生が参加した。また、ウェブサイト等を通じてインターンシップ受け入れ実施企業の情報を発信した。

イベント等の企画・参画

- スカイスポーツフェスタ イン埼玉（公益財団法人日本学生航空連盟）
 - ー グライダーなどを実際に“乗る、ふれる、飛ぶ”ことができる体験の実施 等
- 子ども霞ヶ関見学デーへの協力
 - ー 現役操縦士等によるお仕事紹介、日本航空学園によるフライトシュミレーター体験 等
- 各航空会社における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）

裾野拡大ワーキンググループ構成員名簿

(平成31年4月現在)

◆構成員（以下、順不同）

航空機操縦士養成連絡協議会より	航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会より
日本航空株式会社	日本航空株式会社
全日本空輸株式会社	全日本空輸株式会社
日本貨物航空株式会社	天草エアライン株式会社
株式会社AIRDO	アイベックスエアラインズ株式会社
株式会社スターフライヤー	株式会社スターフライヤー
ジェットスター・ジャパン株式会社	三菱重工業株式会社
学校法人東海大学	ボーイング・ジャパン株式会社
学校法人桜美林学園 桜美林大学	株式会社ジャムコ
学校法人法政大学	学校法人日本大学
学校法人都築教育学園 第一工業大学	学校法人日本航空学園 日本航空専門学校
学校法人日本航空学園 日本航空大学校	学校法人日本航空学園 日本航空大学校
朝日航空株式会社	学校法人神野学園 中日本航空専門学校
独立行政法人航空大学校	学校法人日本コンピュータ学園 東日本航空専門学校
三菱重工業株式会社	一般社団法人全日本航空事業連合会
三菱航空機株式会社	公益社団法人日本航空技術協会
ボーイング・ジャパン株式会社	一般社団法人日本航空宇宙工業会
一般社団法人全日本航空事業連合会	
一般財団法人日本航空協会	
一般社団法人日本女性航空協会	
公益財団法人日本学生航空連盟	
公益社団法人日本航空機操縦士協会	

◆関係省庁

航空機操縦士養成連絡協議会より	航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会より
国土交通省	国土交通省
	経済産業省
	文部科学省

◆オブザーバー

航空機操縦士養成連絡協議会より	航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会より
文部科学省	株式会社シーアールイー